適応的実験計画法とその停止規準について

対象:機械学習の入門および中級レベルの知識を持つ方



2024. **7. 11** [Thu] 14:00-15:30

オンライン開催(Zoom事前登録制)

講師

日野 英逸

(統計数理研究所 教授)

新しい材料を開発するためには多くの試行錯誤が必要である。通常、研究者は実験データに基づいて材料の特性を評価し、次の試作品を設計するための仮説を立てる。しかし試作品の設計には多くの変数があり、仮説が正しいとは限らないため、可能な限り少ない試行で最適な材料を設計することが望まれる。こうした状況で用いられるベイズ最適化(BO)や能動学習(AL)、レベルセット推定といった適応的実験計画法の方法論と、それらの停止規準を紹介する。

文献: AL停止

https://proceedings.mlr.press/v108/ishibashi20a.html

https://github.com/hideaki-ishibashi/stopping_AL

スペクトル計測応用

https://www.nature.com/articles/s41524-021-00606-5

https://github.com/hideaki-ishibashi/stopping_spectral_measurements

小角散乱応用

https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/27660400.2022.2140021

BO停止

https://proceedings.mlr.press/v206/ishibashi23a.html

https://github.com/hideaki-ishibashi/stopping BO

セミナーURL:https://dxmt.mext.go.jp/news/1161 (DxMTポータルサイト)

※事前に参加登録が必要です。

右のQRコードもしくは下の参加登録URLにアクセスして下さい。

参加登録URL:

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ljhMHOBMR2aTwHukgAEaiw





お問い合わせ先:DxMTデータ連携部会運営室(dxmt_office@ml.nims.go.jp) 📈